

森林生態系を調べることの意味

生態系(生物)を調べると、その環境がどの程度健全なのか、複雑なのか、がわかる

目的:環境アセスメントや研究

アセスメント……開発する場所に貴重な生き物がいないかどうか、いた場合にはどうすれば影響を避けられるか？を判断するための事前調査

研究の場合……その結果を利用して、どういう管理の仕方をしていけば健全な林をつくることができるのか？を考える(森林の配置計画)ための材料になる

昆虫採集の方法

①一般採集：例えば，捕虫網で採る。
スウィーピング：捕虫網などをくさむらで振ってその中に入った虫を捕まえる。
ビーティング：棒で樹の枝などをたたいて下においた布や捕虫網，傘などに落ちた虫を捕まえる。

②トラップ採集：わなをしかけて昆虫を採る。



ペットボトルラップ



ペットボトルラップで
採集されたスズメバチ類



スウィーピング



ビーティング

昆虫採集道具





ピットホール



ライト



誘引・衝突式



竹筒を用いた営巣トラップ

上手にトラップを使えば、普通の方法よりも多くの虫が採れるし、個人差が少ない。



他と比べられるきちんとした調査方法を学ぶことが必要

調査の際の注意点

調査の単位を決めること。

調査回数,
調査時間,
トラップ个数,
トラップ間隔,
トラップ配置

覚えておいてほしいこと

- 生き物の「多様性」をまもることは、人間の、生活環境をまもること。
- 生物の種類によって、いろいろな採集（観察）の方法があること。
- 生物は、きちんとした「標本」にして、「証拠」を残すこと。
- 正しい方法で科学的なデータを残す。